

香川大学における教務情報を基にした同窓会名簿管理システムの内製開発

山本 捷太¹⁾, 山本 遥希¹⁾, 須戸 裕和²⁾,
黒河内 椋平²⁾, 崎村 詩音²⁾, 浅木森 浩樹¹⁾

1) 香川大学 情報化推進統合拠点 DX 推進研究センター

2) 富士通 Japan 株式会社

s22t341@kagawa-u.ac.jp

In-House Development of an Alumni Directory Management System Based on Academic Affairs Information at Kagawa University

Shota Yamamoto¹⁾, Haruki Yamamoto¹⁾, Yuuwa Sudo²⁾,
Ryohei Kurokochi²⁾, Shion Sakimura²⁾, Hiroki Asakimori¹⁾

1) DX Research Center, Integrated Center for Informatics, Kagawa University.

2) Fujitsu Japan Limited.

概要

香川大学は、教務情報を基にした同窓会名簿管理システムを内製開発した。同窓会名簿管理システムは、教務システムと連携し学生情報を基に同窓会名簿を生成することで、卒業生情報の正確性と鮮度を維持しながら、効率的かつ持続可能な管理を実現することを目的としている。本論文では、教務情報を基にした同窓会名簿管理システムの内製開発について述べる。

1 はじめに

エンrollment・マネジメント (Enrollment Management) とは、大学の組織目標や教育理念を達成するためにマーケティング手法を取り入れながら学内資源を統合的かつ効率的に運用し、戦略に基づき大学業務を体系的に運営する経営手法 [1] とされ、多くの大学で同様の取り組みが行われている。山田ほか [2] は、エンrollment・マネジメントに向けた業務システム内製開発および業務システム連携を推進すべく、学び直しを志す社会人、他大学の学部からの大学院進学希望者などを加えた多様な人物像を対象とし、かつ一度学部から企業へ就職し、実務経験から新たな学びを得るために博士前期課程や博士後期課程での学び直しも考慮した循環型のライフサイクルを定めた。ライフサイクルを入学・進学志向形成段階、出願・受験段階、入学確定段階、在学段階、就職活動段階、卒業・修了段階、科目等履修段階、履修証明プログラム受講段階、アルムネットワーク構築段階から構成されるものとし、各段階の内容、仮説 KPI、取得すべきデータを示した。

大学における情報管理の効率化が強く求められる現代において、教務関連業務のデジタル化は急速に進展している。多くの大学では教務システムの導入が進められており、これらのシステムは主に、在学生の履修登録、成績管理、出席管理、授業評価など、学修活動や教職員の教務業務を円滑に遂行することを目的として設計されている。さらに、これらのシステムは、学生の学修履歴や学修成果を可視化することで、教育改善や学修支援の高度化にも寄与しており、教育の質保証や学修成果の分析にも活用されている。一部の大学では、学修ポートフォリオ [3] や学習分析 (Learning Analytics) [4] との連携も進められており、個別最適化された学修支援の実現に向けた取り組みが加速している。

しかしながら、卒業生に関する情報はこれらの教務システムの管理対象外となっていることが多く、卒業後の情報管理は別途対応が必要となるのが現状である。一方で、大学同窓会における名簿管理は、依然として手作業による運用に依存しているケースが多く見受けられる。卒業生の居住地や勤務先、連絡先などの情報は時間の経過とともに変化するため、情報の鮮度

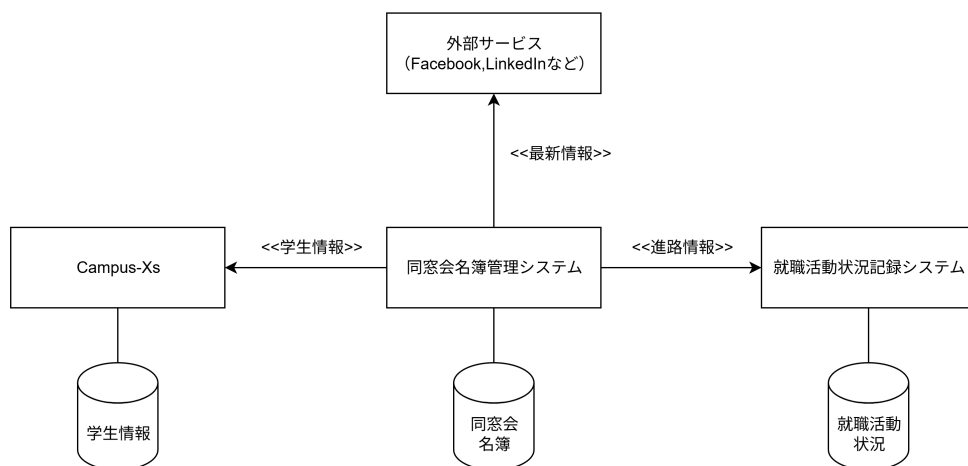


図1 同窓会名簿管理システムのシステム概略図

が低下しやすく、結果としてデータの不整合や重複、欠損が常態化してしまう。これにより、同窓会活動や卒業生との連携を図る上での障壁となっており、大学の広報活動や寄附募集、キャリア支援などにも影響を及ぼしている。また、卒業生ネットワークの活用による社会的評価の向上や、企業との連携強化といった観点からも、卒業生情報の戦略的な管理は大学経営において重要な課題となっている。

香川大学は、同窓会名簿管理システムを内製開発した。香川大学は、教務システムとして富士通 Japan 株式会社の Campus-Xs[5] を採用しており、エンロールメント・マネジメントのライフサイクル形成においても中核的なシステムに位置づけられ、ほぼすべての段階において活用が検討されている。同窓会名簿管理システムは、この Campus-Xs と連携することで Campus-Xs に記録されている学生情報を基にした同窓会名簿を生成する。また同システムは、Campus-Xs が管理する学生情報に加えて、香川大学で内製開発された就職活動状況記録システム [6] と連携し、卒業生の進路情報も用いる。また、同窓会名簿の情報更新を卒業生自身が行うことを促す目的で、外部サービス (Facebook, LinkedIn など) で公開されている最新プロフィールや、活動状況を収集する情報更新機能も検討している。同窓会名簿管理システムは、卒業生のキャリアパスや社会的活動の可視化を通じて、大学の教育成果の社会的発信にも貢献し得るものであり、大学のブランド価値向上やステークホルダーとの関係構築の強化を狙っている。

本論文では、教務情報を基にした同窓会名簿管理システムの内製開発について述べる。2章では、同窓会名簿システムの概要について述べる。3章では、ま

めを述べる。

2 同窓会名簿管理システム

図1は同窓会名簿管理システムの概略図を示している。同窓会名簿管理システムは、学生情報を管理する Campus-Xs と、香川大学が内製開発した就職活動状況記録システムと連携する。同窓会名簿情報は、卒業生との継続的な関係構築や大学の広報・支援活動において重要な役割を果たすため、正確かつ最新の情報を保持する必要がある。Campus-Xs から提供される API (Application Programming Interface) を用いてデータ抽出することで、同窓会名簿を生成する。Campus-Xs には学生情報として、履修・成績・卒業情報などが管理されており、卒業生の基本情報を取得する上で重要な情報源として「氏名 (漢字・カナ・英字)、学籍番号、生年月日、卒業年度、所属学部・学科、在学期間」などが取得対象となる。Campus-Xs とのシステム間連携には、先行研究である Campus-Xs が保有するデータを分析・可視化する「大学ダッシュボード (教育情報)」[7]、Campus-Xs が保有するお知らせデータを要約し学生に通知する「お知らせ自動要約システム」[8]と同様に、同窓会名簿に必要な情報を特定しながら段階的に API を設計する方針としている。

就職活動状況記録システムは、学生の進路希望や内定状況、卒業後の就職先情報などを記録しており、卒業生の進路情報を補完することができる。同システムには勤務先名、業種分類、役職、就職年月、進学先 (大学院など) の情報が管理されており、これらの情報は卒業後の進路把握や同窓会活動における業界別交流の促進に活用できる。また、現在これら学内で管理された情報だけでなく、同窓会名簿の情報更新を卒業生自

身が行うことを促す目的で、外部サービス（Facebook, LinkedIn など）で公開されている最新プロフィールや、活動状況を収集する情報更新機能も検討している。

3 おわりに

本論文では、教務情報を基にした同窓会名簿管理システムの内製開発について述べた。同窓会名簿管理システムは、教務システムである Campus-Xs で管理されている学生情報を活用し、同窓会名簿を作成する。現在、Campus-Xs が提供する API の開発に取り組むとともに、同窓会名簿管理システムのプロトタイプ開発にも取り組んでいる。同窓会名簿管理システムは、卒業生情報の正確性と鮮度を維持しながら、効率的かつ持続可能な管理を実現することを目的としており、大学と卒業生との関係性を強化するための基盤とすべく開発を進めている。

謝辞

本研究は富士通 Japan 株式会社との共同研究によって実施された。関係者に謝意を表す。

参考文献

- [1] 金 明秀. "エンrollment・マネジメントと教育実践の融合: 京都光華女子大学を事例として". 京都光華女子大学研究紀要. Vol. 46, pp. 251-296, 2008.
- [2] 山田 哲, 浅木森 浩樹, 崎村 詩音, 武久 尚矢, 米谷 雄介, 神馬 豊彦, 八重樫 理人. "香川大学のエンrollment・マネジメント実現に向けた業務システム内製開発と業務システム連携の取り組み". 大学 ICT 推進協議会 2025 年度年次大会講演論文集, in press.
- [3] 日本私立学校振興・共済事業団. "学修ポートフォリオ". https://www.shigaku.go.jp/pdic_t011.htm (2025-09-25 参照)
- [4] 山川 修. "Learning Analytics とは". 情報処理, vol.55, No.5, 2014.
- [5] 富士通 Japan 株式会社. "Campus-Xs (キャンパスクロス)". <https://docs.fujitsu/documents/003086/campus-xs-brochure-ja-20250519.pdf> (2025-09-18 参照)
- [6] 松永 智広, 米谷 雄介, 油谷 知岐, 浅木森 浩樹, 末廣 紀史, 武田 啓之, 山田 哲, 八重樫 理人. "就活状況記録システムおよび就活状況分析・可視化システムの内製開発とその効果". 学術情報処理研究, vol.28, no.1, pp.165-173, 2024.
- [7] 米村 拓海, 山本 遥希, 工藤 梨乃, 矢部 智暉, 油谷 知岐, 浅木森 浩樹. "香川大学における大学ダッシュボード (教育情報) の内製開発". 大学 ICT 推進協議会 2024 年度年次大会, 11PM1C-4, pp.439-441, 2024.
- [8] 蓑原 海斗, 前田悠作, 小林 誠, 高田 良介, 油谷 知岐, 浅木森 浩樹. "香川大学における教務システムのお知らせ自動要約システムの内製開発". 大学 ICT 推進協議会 2024 年度年次大会, 11AM2C-4, pp.385-387, 2024.